

産地活性化総合対策事業

# 有機農業供給力拡大地区推進事業計画書

事業実施年度：平成 25 年度（1 年目）

---

産地名：三重県伊賀市・名張市

---

有機農業協議会名：伊賀有機農業推進協議会

---

## 第1 事業実施体制

### 有機農業協議会の概要

代表者名	前田洋
事務局代表者名	村山邦彦
会計責任者	同上 (担当: 大塚恵理子)
有機農業協議会を構成する組織、団体名	羽根村づくり実行組合、月ヶ瀬健康茶園、伊賀ベジタブルファーム(株)、いのちいきいき料理教室、(社)全国愛農会、(有)手づくり農園、愛農学園農業高校、土の香市場ハラペコあおむし、谷農園、NPO法人懐かしい未来、土の香工房、(株)エムシーエス、寿々芽農園、伊賀北部農協、カフェsanaburi、合同会社名張ファーム、ゆうき伊賀の里、(農)百姓工房伊賀の大地、NPO法人伊賀有機農産供給センター、大山田農林公社、(農)忍びの里、伊賀市、名張市、三重県伊賀農林事務所 (オブザーバー)

## 第2 事業の実施方針

### 安定供給力強化

#### ●技術開発

- ・最先端の技術を取りこみ、地域に発信・活用していく体制を整える。(例) 土壌中の微生物量等を測定するSOFIX分析(立命館大学)
- ・三重県や三重大学などの研究機関と連携し、本協議会が取り組んできた有機態(可給態)窒素の簡易測定の実証試験を行い、データ解析などを進めると同時に、普及ステージを意識した諸文書整備や測定機器のパッケージ化を進め、特許取得にも取り組む。

#### ●技術普及

- ・行政機関・研究教育機関と連携し、有機栽培の肥培管理を中心とした技術マニュアル作成を進める。
- ・農家同士の技術情報交換の場を定期的に設け、優れた技術の普及を促進する。

### 産地販売力強化の方針

#### ●産地形成

- ・地域の有機農産物を用いた独自の加工品の開発を行う。(マーケティング調査・試作・加工原料農産物の生産体制整備など)
- ・ロゴマークの活用や産地情報をストーリー性をもって発信することより、ブランドイメージを形成する。
- ・実需者等に対し生産者・生産物情報の発信を容易にするためのシステムの開発と試験を行う。
- ・生産者連携による営業・販売事務局機能の確立・産地情報の発信・取引先の新規開拓・他産地との連携出荷などに取り組む。

#### ●地域の有機農産物の普及・認知向上

- ・地域内での有機農産物に対する理解浸透を狙って学校給食への食材提供を行い、農家交流など児童向けに食育の場を設ける。
- ・オーガニックフェスタ、料理教室、農体験教室といった有機農産物の産地としての認知度を高める活動を継続的に実施する。
- ・観光協会等と連携して、子供を中心に都市からの農業体験希望者を受け入れる体制を整える。

### 有機農業者育成力強化の方針

#### ●参入支援

- ・新規就農希望者や有機農業を支える人材を地域に呼び込むため、インターネット等に受入情報を発信し、就農フェア等にブース出展する。また、地域で慣行栽培を行っている農家に対して転換を呼び掛ける案内ちらしなどの作成・配布を行う。

- ・行政と連携して就農・転換の相談・受付窓口を充実させ、対応体制を強化する。  
地域の住宅、土地、研修先、販売組織などの情報を収集・整理し、希望者に対するバックアップ体制を整える。
- ・有機農業への新規参入希望者を対象とする講習会を継続実施するとともに、教科書／技術マニュアルの整備を進める。
- 有機JAS取得支援（講習会補助）
  - ・有機JAS取得希望者のための研修・講習会を主催し、書類や記録の作成などを支援する体制を整備する。

※別記様式第1号有機農業供給力拡大プログラムの「5事業の実施方針」に則した内容を記載すること。

### 第3 事業の内容及び計画

取組内容	推進体制	実施時期	事業量（単価、回数、面積等）	事業費（円）	経費の必要性と当該事業の関連性
(1) 本事業の推進に関する検討					
取組内容① <産地調査>	事業推進T	2013年5月 ～ 2014年3月	会員生産者全員 (現在47名) の聞き取り調査 紹介資料作成3000部	250,000	地域内の有機農産物の生産者・生産物を定期的に調査、把握することで産地収益力向上のための基礎データとすると共に、情報発信の材料とする。
地域内生産者・農産物に関する継続調査 取組紹介資料の作成					
取組内容② <先進地視察>	事業推進T	2013年5月 ～ 2014年3月	3回	200,000	他地域での取り組みを参考に運営体制の強化を図り、有機農業に関する技術の向上、地域農産物の品質向上やブランド化、また販路拡大に資する。
有機農業推進に関わる先進地視察 (鹿児島有機生産組合ほか)					
(2) 安定供給力強化の取組					
取組内容① <先端技術の開発・導入>	技術開発・普及T	2013年5月 ～ 2014年3月	3圃場での実証試験 継続的な情報収集	490,000	実効有機態窒素分の簡易測定に関する検討を進め、施肥設計技術を確立し生産安定化を図る。
可給態窒素の簡易測定～施肥適正化実証試験 および周辺関連技術に関する情報収集					
取組内容② <技術普及>	技術開発・普及T	2013年5月 ～ 2014年3月	交流会5回 講習会2回 アンケート調査1回 マニュアル書類作成	260,000	地域の有機農業の技術マニュアル整備のため、アンケート調査や技術情報交換会、圃場見学などを通じて、生産性向上について継続的に検討～普及する。
技術交流・講習会開催・栽培マニュアル整備					

(3) 産地販売力強化の取組					
取組内容① <産地形成のための体制づくり> 販売体制整備（農産物一覧・カレンダー製作・実需者への情報提供）	販売促進 T	2013年5月 ～ 2014年3月	受付窓口継続設置 営業・販売組織形成 生産者情報発信システムの開発・試験	820,000	産地内の生産者の連携を強め、品目や数量、品質、価格に厚みを持たせると共に、実需者等への有用な情報発信を行うことで、競争力強化と、販路開拓に繋げる。
取組内容② <有機農産物を利用した加工品開発> 加工品の試作・マーケティング	販売促進 T	2013年5月 ～ 2014年3月	加工試作品の宣伝・営業と製造計画策定	400,000	地域の有機農産物を利用した独自の加工品開発に取り組むことで、販路多様化、収益向上につなげる
取組内容③ <都市向け情報発信> ブランド形成（ロゴ活用等、ブランディング戦略展開）	販売促進 T	2013年5月 ～ 2014年3月	ロゴマーク決定 ブランディング戦略検討	280,000	ロゴマークを始め、地域の生産者や有機農業に関するストーリー性のある情報を発信し、全国的な認知向上を図る
取組内容④ <都市圏からの呼び込み> グリーンツーリズムの企画と試験運営	販売促進 T	2013年5月 ～ 2014年3月	グリーンツーリズム企画・試験実施2回	250,000	他の地域資源との連携をはかり、有機農業の現場を体験する仕組みを作ることで、観光を通じた農産物需要の拡大を図る。
取組内容⑤ <地域の有機農産物の認知向上> 有機農業推進に関わる一般向け講習会等の開催（各種講演、料理教室、食育活動等） 学校給食への食材提供、オーガニックフェスタ開催	事業推進 T	2013年5月 ～ 2014年3月	講演会 3回 給食食材提供10回 フェスタ1回	450,000	地域住民の有機農業に関する認知向上をはかり、有機農産物の購入促進及び地域内での活動定着に資する。
(4) 有機農業者育成力強化の取組					
取組内容① <講習会実施> 新規参入講習会実施／有機JAS取得支援講座	人材育成 T	2013年5月 ～ 2014年3月	15回	300,000	有機農業に関連する基礎技術取得を容易にし、安定生産・定着促進を図るとともに、書類作成支援等の講習を通じて有機JAS取得に向けたハードルを下げる。
取組内容② <継続的な参入支援> 相談窓口の継続設置・就農フェア等へのブース出展、対外的な情報コンテンツ製作、慣行栽培から有機への転換促進	人材育成 T	2013年5月 ～ 2014年3月	窓口常設 ブース出展2回 コンテンツ製作公開 転換促進パンフ作成 100部	300,000	地域内の有機農産物生産者及び関連団体と協力し、地域内における有機農業者の継続的かつ安定的な増加を目指す。

- (注) 1 「取組内容」の欄は、別記様式第1号有機農業供給力拡大プログラムに記載した内容のうち、当該年度に実施する取組内容を記載すること。  
2 適宜、行を追加して記入すること。

第4 必要経費

1 経費の配分及び負担区分

区分	補助事業に要する経費 (円)	負担区分			備考
		国庫補助金(円)	協議会費(円)	その他(円)	
ア 本事業の推進に関する検討					
①地域内生産者・農産物に関する継続調査	250,000	250,000			
②有機農業推進に関わる先進地視察	200,000	200,000			
イ 安定供給力強化の取組					
①先端技術の開発・導入	490,000	490,000			
②技術交流・講習会開催・栽培マニュアル整備	260,000	260,000			
ウ 産地販売力強化の取組					
①販売体制整備	820,000	820,000			
②加工品の試作・マーケティング	400,000	200,000	200,000		
③ブランド形成、生産者情報発信ツール開発・試験	280,000	280,000			
④グリーンツーリズム企画・運営	250,000	250,000			
⑤有機農業推進に関わる一般向け講習会等の開催	450,000	350,000	100,000		
エ 有機農業者育成力強化の取組					
①新規参入講習会実施	300,000	200,000	100,000		
②参入支援	300,000	300,000			
合計	4,000,000	3,600,000	400,000		該当なし

(注) 備考欄には、仕入れに係る消費税等相当額について、これを減額した場合には「除税額〇〇〇円 うち国費〇〇〇円」を、同税額がない場合には「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含税額」とそれぞれ記入すること。

2 事業完了(予定)年月日

平成26年 3月31日

3 収支予算（又は精算）  
収入の部

区 分	本年度予算額（円）	前年度予算額（円） （又は本年度精算額）	比 較		備 考
			増	△減	
国庫補助金	¥3,600,000				
協議会費					
市町村					
その他	¥400,000				
合 計	¥4,000,000				

支出の部

区分	別紙に掲げる 経費の費目	本年度予算額（円）	前年度予算額（円） （又は本年度精算額）	比較		備考
				増	△減	
(1) 本事業の推進に関する検討						
	印刷製本費	100,000				①取組紹介資料
	借上費	50,000				①調査に必要な機器の借上
	調査旅費	220,000				①生産者調査経費20,000 ②視察2-3名×3回200,000
	役務費	80,000				①調査員雇用 約70時間
(2) 安定供給力強化の取組						
	備品費	120,000				①実証試験備品 計測機、温度保持機等
	会場借料	30,000				②交流会等会場
	借上費	120,000				①3圃場および機器借上
	印刷製本費	30,000				②技術マニュアル・講習会 資料等印刷
	消耗品費	60,000				①実証試験分析用消耗品 試薬・計測器パーツ他
	調査旅費	70,000				①技術情報収集
	謝金	200,000				②交流会・講習会講師依頼 マニュアル取りまとめ

	役務費	120,000				①実証圃場での分析作業 3圃場・各30時間程度
(3) 産地販売力強化の取組	備品費	30,000				⑤フェスタ機材費
	会場借料	40,000				イベント会場 ④20,000 ⑤20,000
	借上費	50,000				④グリーンツーリズム 実施圃場・宿泊所借上
	印刷製本費	30,000				④リーフレット等作成
	原材料費	180,000				②加工品原料80,000 ⑤給食食材100,000
	消耗品費	30,000				②加工品パッケージ他試作
	委員旅費	80,000				コンサル・講師旅費 ③30,000 ⑤50,000
	調査旅費	50,000				③打ち合わせ出張旅費
	謝金	500,000				コンサル、専門家・ アドバイザー等謝礼 ②50,000 ③200,000 ④150,000 ⑤100,000
	委託費	820,000				①販促窓口 300,000 情報発信システム開発 520,000
	役務費	390,000				②加工品試作・製作費 240,000 ⑤フェスタ当日スタッフ 150,000
(4) 有機農業者育成力強化の取組	会場借料	20,000				①講習会会場
	印刷製本費	150,000				①講習会配布物30,000 ②転換促進リーフレット 120,000
	委員旅費	50,000				①講師旅費
	調査旅費	80,000				②ブース出展等旅費
	謝金	200,000				①講師謝金15回分
	委託費	100,000				②就農相談窓口業務
	合計		4,000,000			

(注) 1 各費目の細目ごとに具体的に記入し、備考欄には経費積算の基礎等を記入すること。

2 適宜、行を追加して記入すること。

第5 添付書類（添付書類名を記載すること。）

- 1 会計規程等経費の使用に関する規程（案）等
- 2 事業の一部を委託する場合はその委託契約書（案）（又は写し）
- 3 その他地方農政局長等が必要と認める書類

伊賀有機農業推進協議会規約
---------------

伊賀有機農業推進協議会謝金規定
-----------------